

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(26)(HP 収載)

－NRF-005T 貼り付け銅板(2)－

1. 始めに

前方(25)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T のアースの取れない機器への適用を検討します。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

前報(25)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T のアースの取れない機器への適用を検討するため、前報(25)で製作した銅板側に NRF-005T を貼り付けた基板作成板を使用します。

今回の設置対象機器は次のとおりです。

オーディオ用 NAS : fidata HFAS1-S10

CDドライブ : IOデータ機器 BRD-UT16WX

適用する再生経路は次のとおりで、以下の*印の機器の天板に敷いてみます。

CD再生系

CD ドライブ(*)→fidata HFAS1-S10(*)→Brooklyn DAC +→TruPhase

* : 設置対象機器



なお、TruPhaseの筐体は金属製ですが、CDドライブの筐体は樹脂製です。

CD ドライブからの CD 再生では、下記を試聴しました。

Hyperion CDA67993

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ

アリーナ・イブラギモア (ヴァイオリン)

Archiv POCA-1132

モーツァルト・ハイドン・グルック オペラアリア集

アンネ・ゾフィー・フォン・オッター (メゾソプラノ)

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンソート

3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

結論から述べますと、CD ドライブ、fidata HFAS1-S10 とも、イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタも、オッターのオペラアリアも、適用の効果を認めませんでした。そこで、前報(25)と同様、終段の TruPhase に適用しますと、ヴァイオリンソナタのボウイングやオッターの歌唱のニュアンスが把握しやすくなりました。

TruPhase はアルミの筐体であり、それ自体はノイズを発生しませんが、デジタルノイズを発生しやすい DAC の Brooklin DAC+の上に置いていることから、受動的にノイズを吸収している可能性があり、このことが NRF-005T を貼り付けた基板作成板の設置効果をもたらしているのかもしれない。

前報(25)の結果と併せて、NRF-005T を貼り付けた基板作成板は、TruPhase に適用するのが良さそうです。

4. まとめ

CD ドライブ、fidata HFAS1-S10 とも、NRF-005T を貼り付けた基板作成板の適用の効果を認めませんでした。

以上